

## 第14章 練習問題

表11は、全国の20歳から59歳までの男女3,000人を対象に行った調査データを用い、BMI(ボディマス指数)を従属変数、年齢を独立変数とした回帰分析の結果である(架空例)。この表をもとに、次の問いに答えてください。

表11 BMIの回帰分析の結果

	回帰係数(B)	標準誤差(S.E.)
切片	19.971*	0.276
年齢	0.060*	0.007
決定係数( $R^2$ )	.027*	
N	3,000	

\* $p < .05$

- (1) 年齢の回帰係数はいくつか。また、この数値は何を意味するか。
- (2) この分析の決定係数はいくつか。また、この数値は何を意味するか。
- (3) 切片の値は何を意味するか。

【正解は次のページ】

## 第 14 章練習問題 正解

- (1) 0.060. 年齢が 1 歳増えると BMI が 0.060 増加する。
- (2) 0.027. BMI の分散の 8.9%が年齢の分散によって決まる。
- (3) 年齢が 0 歳の時の BMI の平均値(あくまでも、回帰直線から予想できる理論上の値)。